



平成27年度 消防功労者表彰式

平成二七年度 秋田県消防功労者表彰式



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十八年度全国統一防火標語
消しましょう
その火その時
その場所で

平成二七年度秋田県消防功労者表彰式は秋田県及び公益財団法人秋田県消防協会の主催により、三月一四日(月)午後一時から、秋田県庁第二庁舎(秋田市山王)で開催されました。式には、受章者など一五〇人が出席しました。式典は、最初に堀井啓一秋田県副知事が式辞を述べた後、消防庁長官表彰として永年勤続功労章などの伝達、秋田県知事表彰として消防(水防)活動協力者表彰などが行われたほか、日本消防協会定例表彰として、表彰旗、竿頭綬、功績章、精績章がそれぞれ伝達されました。続いて、中田潤秋田県消防協会長の挨拶、来賓を代表して渋谷正敏秋田県議会議長が祝辞を述べ、最後に受章者を代表して鈴木輝秋・由利本荘市消防団副団長が謝辞を述べました。



式辞(要約)
秋田県副知事
堀井 啓一

本日は、消防・防災への貢献度が高く、他の模範となる方々や、迅速かつ的確な救助活動により水難事故から幼い命を守られた方などに対し、表彰を行うこととしております。皆様には、火災をはじめとする災害から県民の生命と財産を守るため、昼夜を分かたずご尽力いただいております。深く敬意と感謝の意を表します。

受章される皆様には、心からお祝いを申し上げますとともに、支えてこられたご家族や関係者の方々に対しましても厚くお礼申し上げます。災害や火災から住民を守り、地域の安全安心の確保を図ることは、行政の最重要課題の一つであり、住民・地域・行政が一体となった消防・防災体制を構築することが、何よりも重要であります。

このため県では、近年発生した災害や、そこから得られた教訓を踏まえ、本年、地域防災計画の見直しを行



挨拶(要約)
公益財団法人
秋田県消防協会
会長
中田 潤

う予定であり、災害に強い地域社会の構築を目指し、今後も各種防災対策の充実に取り組んでまいります。皆様におかれましても、こうした取り組みに、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本日表彰を受けられます方々には、今後も健康に留意され、豊かな知識と経験を消防組織の更なる発展に生かしていただきますとともに、地域の安全安心の確保に向け、なお一層ご活躍されますことを心から祈り申し上げます。

栄えある受章を心からお祝い申し上げます。

東日本大震災から丁度五年が経過しました。あの震災における消防職・団員の懸命な活動は、国の内外から高い評価を頂きましたが、残念ながら多くの殉職者を出してしまいました。誠に痛恨の極みであります。あのようなことを決して繰り返さないためにも、大震災の体験を教訓として、消防体制の整備を更に進めて行かなければなりません。

一方、県内の災害の発生状況をみますと、昨年は火災により四〇名の方が尊い命を失っております。ま



秋田県知事表彰



消防庁長官表彰伝達

た、大雨や突風による自然災害の脅威も依然として続いております。

このような中、県民の消防防災に対する関心・期待は高まってきており、消防本部、消防団の任務・役割は益々大きく重要なものとなっております。

私たち消防人は、県民の安心・安全確保という強い願いに応えていくため、一層高い士気の下に訓練を重ね、地域との連携を更に深め、より強靱な体制を構築して、あらゆる災害に立ち向かってまいれる所存であります。

本日受章されました皆様には、これからも地域の消防防災リーダーとして、それぞれの分野でご活躍、ご支援賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。



受章者代表謝辞



日本消防協会表彰旗伝達

消防庁長官表彰

◆功 勞 章 (2名)

藤里町消防団	団 長	小 山 初 美	小坂町消防団	団 長	成 田 俊 昭
--------	-----	---------	--------	-----	---------

◆永年勤続功労章 (75名)

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 正 監	三 浦 肇	横手市消防本部	消 防 監	大 石 義 孝
能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	落 合 謙 彦	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	齋 藤 榮 二
秋田市消防本部	消 防 監	佐藤 重左エ門	大館市消防本部	消 防 監	佐 藤 久 仁
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	相 馬 健 雄	湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消 防 監	高 橋 禎 悦
秋田市消防本部	消 防 監	富 岡 正 毅	大館市消防本部	消防司令長	大 澤 健 一
由利本荘市消防本部	消防司令長	菊 地 榮 一	男鹿地区消防一部事務組合消防本部	消防司令長	笹 渕 謙 一
由利本荘市消防本部	消防司令長	佐 藤 嘉 一 郎	秋田市消防本部	消防司令長	土 田 高 昭
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	消防司令長	三 上 強	湖東地区行政一部事務組合消防本部	消 防 司 令	伊 藤 吉 昭
にかほ市消防本部	消 防 司 令	小 川 香	能代山本広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令	佐 藤 千 歳
鹿角広域行政組合消防本部	消 防 司 令	相 馬 朗	北秋田市消防本部	消 防 司 令	田 中 正 雄
鹿角市消防団	副 団 長	青 澤 尚 人	秋田市消防団	副 団 長	足 利 幸 雄
秋田市消防団	副 団 長	小野 甚左衛門	にかほ市消防団	副 団 長	金 子 英 紀
八峰町消防団	副 団 長	菊 地 直 人	秋田市消防団	副 団 長	齋 藤 正 俊
北秋田市消防団	副 団 長	佐 藤 修 助	東成瀬消防団	副 団 長	鈴 木 修
由利本荘市消防団	副 団 長	鈴 木 輝 秋	大館市消防団	分 団 長	虻 川 兵 悦
三種町消防団	分 団 長	荒 川 毅	潟上市消防団	分 団 長	飯 嶋 睦 夫
井川町消防団	分 団 長	伊 藤 澄 男	男鹿市消防団	分 団 長	伊 藤 武 博
能代市消防団	分 団 長	大 高 鉄 徳	北秋田市消防団	分 団 長	小 笠 原 秀 信
湯沢市消防団	分 団 長	奥 山 純 一	横手市横手消防団	分 団 長	小 田 嶋 勝 郎

湯沢市消防団	分 団 長	小野寺 良 信	男鹿市消防団	分 団 長	加 藤 慶 記
仙北市消防団	分 団 長	加 藤 正	鹿角市消防団	分 団 長	川 村 元
潟上市消防団	分 団 長	菊 地 啓 一	大館市消防団	分 団 長	木 村 校 一
能代市消防団	分 団 長	工 藤 博 史	大仙市消防団	分 団 長	小 松 伸 一
大仙市消防団	分 団 長	今 野 博 行	横手市十文字消防団	分 団 長	齋 藤 和 夫
八郎潟町消防団	分 団 長	齊 藤 悟	北秋田市消防団	分 団 長	櫻 田 満
羽後町消防団	分 団 長	佐々木 修 一	五城目町消防団	分 団 長	佐 沢 貞 一
仙北市消防団	分 団 長	佐 藤 乃 三	大仙市消防団	分 団 長	佐 藤 秀 世
横手市山内消防団	分 団 長	佐 藤 良 雄	能代市消防団	分 団 長	佐 原 操
横手市増田消防団	分 団 長	白 澤 進	横手市平鹿消防団	分 団 長	高 橋 和 雄
大仙市消防団	分 団 長	高 橋 昇	横手市大森消防団	分 団 長	高 橋 久 志
大館市消防団	分 団 長	高 橋 與 市	美郷町消防団	分 団 長	辻 清 己
由利本荘市消防団	分 団 長	富 樫 公 一	美郷町消防団	分 団 長	中 野 龍 一
鹿角市消防団	分 団 長	藤 田 純	大館市消防団	分 団 長	本 間 賢 一
横手市雄物川消防団	分 団 長	皆 川 勝 雄	秋田市消防団	分 団 長	横 田 徳 正
秋田市消防団	分 団 長	渡 邊 定 治	仙北市消防団	分 団 長	渡 辺 勇 悦
大仙市消防団	分 団 長	渡 邊 亨	大仙市消防団	副 分 団 長	鈴 木 和 夫
上小阿仁村消防団	副 分 団 長	鈴 木 幸 政	男鹿市消防団	副 分 団 長	原 田 隆
小坂町消防団	班 長	成 田 彰 夫			

◆竿 頭 綬 (1 消防機関)
大仙市消防団

秋 田 県 知 事 表 彰

◆消防 (水防) 活動協力者表彰 (4名)

横 手 市	吉田谷 達 朗	横 手 市	山 田 仁
横 手 市	山 田 雄 二	横 手 市	照 井 絵 理 佳

◆無火災表彰 (1 町)
八 郎 潟 町

日 本 消 防 協 会 長 表 彰

◆表 彰 旗 (1 団)
大館市消防団

◆竿 頭 綬 (3 団)
鹿角市消防団
能代市消防団
羽後町消防団

◆功 績 章 (20名)

鹿角市消防団	副 団 長	内 田 清 隆	大館市消防団	副 団 長	浅 利 重 博
大館市消防団	副 分 団 長	佐 藤 洋 子	上小阿仁村消防団	副 団 長	武 石 聡
三種町消防団	副 団 長	田 中 勉	能代市消防団	分 団 長	菊 池 敏 幸
男鹿市消防団	副 団 長	畠 山 隆 一	潟上市消防団	副 団 長	佐々木 一 信
秋田市消防団	分 団 長	利 部 敏	秋田市消防団	分 団 長	斎 藤 嘉 憲
由利本荘市消防団	副 団 長	遠 藤 満 博	にかほ市消防団	分 団 長	横 山 功
大仙市消防団	副 団 長	安 藤 喜 美 雄	大仙市消防団	副 団 長	煤 賀 隆 芳
美郷町消防団	分 団 長	照 井 修 二	横手市大森消防団	団 長	菊 池 二 郎
横手市平鹿消防団	団 長	菅 原 一 太 郎	横手市十文字消防団	副 団 長	加 納 一 男
東成瀬村消防団	副 団 長	平 良 肇	羽後町消防団	分 団 長	佐々木 修 一

◆精 績 章 (46名)

鹿角市消防団	分 団 長	川 村 元	鹿角市消防団	分 団 長	藤 田 純
小坂町消防団	分 団 長	木 村 久	大館市消防団	分 団 長	久 慈 次 雄
大館市消防団	分 団 長	佐 藤 憲 一	大館市消防団	副 分 団 長	畠 澤 良 子
北秋田市消防団	分 団 長	佐 藤 一 二 三	北秋田市消防本部	消 防 司 令	高 橋 憲 二
能代市消防団	分 団 長	齊 藤 正 美	能代市消防団	分 団 長	山 田 藤 雄
能代市消防団	分 団 長	大 高 鉄 徳	三種町消防団	分 団 長	加 藤 博 美
男鹿市消防団	副 団 長	加 藤 勝	潟上市消防団	分 団 長	徳 原 一
五城目町消防団	分 団 長	佐 藤 米 吉	八郎潟町消防団	分 団 長	齊 藤 一
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	越 後 屋 光 晴	秋田市消防本部	消 防 司 令 長	伊 藤 弥 真 彦
秋田市消防本部	消 防 司 令 長	相 楽 裕	秋田市消防団	分 団 長	藤 澤 成 和
秋田市消防団	分 団 長	佐 々 木 準 一	由利本荘市消防団	分 団 長	小 松 榮
由利本荘市消防団	分 団 長	木 村 伸 英	由利本荘市消防団	副 分 団 長	大 友 豊
由利本荘市消防団	副 団 長	鈴 木 輝 秋	由利本荘市消防団	副 団 長	長 谷 山 肇
にかほ市消防団	分 団 長	佐 藤 盛 一	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	今 野 隆 嗣
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	消 防 司 令 長	大 荒 田 秋 彦	仙北市消防団	副 団 長	藤 島 絹 雄
美郷町消防団	分 団 長	畑 山 源 太 郎	大仙市消防団	副 団 長	今 野 新 市
大仙市消防団	副 団 長	富 岡 喜 榮	横手市消防本部	消 防 司 令	佐 藤 恒 夫
横手市山内消防団	副 団 長	高 橋 弥 左 ヱ 門	横手市増田消防団	副 団 長	珍 田 藤 雄
横手市山内消防団	副 団 長	藤 原 博	横手市十字消防団	分 団 長	菅 原 善 市
横手市大森消防団	副 団 長	佐 藤 清 市	横手市平鹿消防団	分 団 長	高 橋 和 雄
湯沢市消防団	分 団 長	近 野 仁	湯沢市消防団	分 団 長	金 澤 義 博
湯沢市消防団	分 団 長	阿 部 千 代 志	湯沢市消防団	副 分 団 長	石 川 義 弘
湯沢市消防団	副 分 団 長	佐 藤 多 喜 雄	湯沢市消防団	副 分 団 長	高 橋 克 己



消 防 団 員 募 集



地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。

消防団・消防団員とは

消防団は、消防本部や消防署と同様に市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、本業を持ちながらも「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づいて、地域の安全・安心を確保するために活動する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団員の減少で、地域防災力の低下が懸念

本県の消防団員数は、昭和31年には3万6千人が在籍していましたが、年々減少し続け、平成27年10月1日現在には半分を割り込み、1万7,479人となりました。

地域の消防防災力の低下が懸念されています。

多くの方の消防団入団を期待

消防団は、地域防災の中核的な存在で、地域の安全・安心を確保するために大変重要な組織です。

一人でも多くの方に、消防団活動に参加いただけることを期待しています。

さあ、
自分の
街のこと。

あなたにも
できることがあります。

消防団員 募集

守りたい未来、
つながる未来がある。

消防庁

平成28年度主な事業計画

事業項目	実施時期
第1 消防思想普及啓発事業	
1. 火災予防運動の推進	年間
2. 防火ポスターコンクールの実施	平成28年11月
3. 殉職者慰霊に関する事業	
(1) 秋田県殉職消防職・団員慰霊祭	平成28年8月23日
(2) 全国消防殉職者慰霊祭	平成28年9月29日
4. 広報紙の発行とホームページの開設	
(1) 新聞「消防秋田」の発行	毎月1回(1,100部)
(2) ホームページでの情報提供	年間
第2 地域消防防災力向上推進事業	
1. 消防団員の教養研修	
(1) 現地教養研修の実施	年間
(2) 秋田県消防大会の開催	平成28年6月18日
(3) 各種研修会等への参加	
・全国女性消防団員活性化北海道大会	平成28年6月3日
・女性消防団員教育訓練	平成28年10月29日～30日
・消防団員指導員研修	平成28年11月26日～27日
・消防団幹部特別研修	平成29年1月10日～13日
・消防団幹部候補中央特別研修(男性)	平成29年2月1日～3日
・消防団幹部候補中央特別研修(女性)	平成29年2月15日～17日
2. 消防操法大会の開催	
(1) 秋田県消防操法大会	平成28年8月30日
(2) 全国消防操法大会(長野市)	平成28年10月14日
3. 消防団活動の活性化	
(1) 女性消防団ネットワーク会議の開催	平成28年11月15日
(2) 消防団長研修	平成28年12月8日
第3 消防職団員福利厚生事業	
第4 消防互助会事業	
第5 会議の開催	
(1) 定時評議員会	平成28年5月25日
(2) 理事会	年3回開催
(3) 会計監査	平成28年4月22日
(4) 消防実務担当者会議	平成28年6月10日
(5) 東北地区消防連絡協議会(秋田市)	平成28年7月26日

秋田県消防協会第三回理事会が三月一四日(月)、秋田市の「ルポールみずほ」で開催され、平成二八年度事業計画や収支予算などが承認されたほか、第二六回全国消防操法大会(平成三〇年度)の秋田県での開催希望などについて協議されました。

**平成二八年度
事業計画・収支予算
承認される**

秋田県消防協会

平成28年度収支予算

(単位:円)

勘定科目・主な事業費	予算額
事業活動収入計	29,706,750
消防互助会掛金	5,580,000
事業収入	291,000
補助金等	12,645,000
負担金	5,044,000
年会費	5,778,000
その他収入	368,750
事業活動支出計	34,237,000
火災予防運動の支部活動費	900,000
消防思想普及啓発費	2,630,000
秋田県消防大会費	1,047,000
女性消防団員研修費	242,000
秋田県消防操法大会費	1,402,000
支部消防操法大会助成費	900,000
全県消防団長研修会費	272,000
女性消防団ネットワーク会議費	382,000
消防互助会見舞金支出	3,000,000
その他支出	23,462,000
当期一般正味財産増減	△ 4,530,250
一般正味財産期首残	110,000,000
一般正味財産期末残	105,469,750
基本財産	3,000,000

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 **能代消防センター**
 株式会社 **協立**

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

特別研修に参加して

日本消防協会が主催する第四二回消防団幹部特別研修及び第一五回消防団幹部候補中央特別研修は、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)において実施されました。

本県から参加した七名の受講者から報告がありましたので紹介します。

消防団幹部特別研修



三種町消防団 団長 金子 忠夫

研修は、一月二日から一五日まで行われました。

研修科目は日消会長講話に始まり、課題討議、消防庁危機管理センターにて消防行政、防災対策、消防団実務、東京消防庁第二方面救助危機部隊を視察し、最終日は活動事例、課題研究発表を行い、この研修が始まって以来初めての女性副団長一名を含む四五名で有意義な研修をすることができました。

消防団活動事例では、長野県神城断層地震における白馬村消防団の横山団長の報告がありました。夜の十時過ぎの大地震で家屋の倒壊等甚大な被害があったにもかかわらず、一

人の死者も出さなかったことは、消防団員の結束力と地域密着型であること、又集落全体の繋がりが最小限の被害に抑える第一の要因となったと聞き、正に消防団の原点を考えさせられました。

四つの課題討議があり、私は「消防団員の確保対策について」を討議しました。各地域においても団員の減少、高齢化は止められずにおり、それぞれに応じた取り組みや問題点などについて意見交換し、団員を確保するためには団員の処遇改善、在勤者への入団促進、消防団協力事業所への支援など多数の意見がありました。やはり郷土愛の誠心を養い、消防団員の魅力を知ってもらえる様なPR活動を広めて行くことが大事だということになりました。

最終日には、伊勢村修隆消防団専門官の助言のもと、各班の課題研究発表がありました。

六班すべての問題は同じように思えました。やはり「地域になくはない消防団をいかに維持していくことが大事かということ」になったと思います。

このような特別研修に参加させていただき、全国の消防団幹部の皆様と接することができたことに感謝し、これからの消防団活動に全力を注いで頑張りたいと思います。皆様に感謝申し上げます。

消防団幹部候補中央特別研修



鹿角市消防団 班長 田子 勉

「若年層の団員確保対策について」という課題討議テーマについて全国各地の消防団員と討議を行いました。

地域防災力の核となる消防団は、地域に対し安心して暮らせるための黒子役であり、地域からの期待は大きいものがあります。今後は少年消防クラブをはじめ、中・高校生に対し身近な消防団となるべき活動を行い、将来の消防団員確保に努める必要性を認識しました。

今回の研修は、防災等知識向上と消防人としての消防観の自己改革ができ貴重な財産となりました。

今後は、生まれ育った地域に「防火・防災」を通し、今回の研修の恩返しをしていきたいと思えます。



北秋田市消防団 団員 木村 浩悦

日本消防協会秋本会長の講話から始まり、災害情報、危機管理、活動事例を講師の先生方からお話を聞き、消防団の役割、必要性を改めて

感じました。課題討議では、各グループの課題発表があり課題の解決案や取り組みについていろいろな意見を聞くことができました。

また、全国各地の消防団の方々と意見交換することで、自分自身のスキルアップにもなりました。このような機会を与えてくれた皆様に感謝するとともに、今回の研修で得たものを今後の消防団活動に生かしていきたいと思えます。



由利本荘市消防団 分団長 眞田 和幸

全国各地の消防団幹部候補の皆様と貴重な意見交換をさせてもらいました。日本消防協会秋本会長が消防団の必要性、重要性を一番に考えてくれていて、私たちへの期待の大きさを実感させられました。また、講師の先生方の様々な災害の話を聞き、改めて消防団の役割の重要性を感じました。

特別研修に参加させていただき、全国の消防団幹部の皆様と接し意見交換ができたことは、貴重な経験となりました。今後の消防団活動に生かして、より一層努力しなければと思えました。最後に、このような機会を与えてくれました関係者の皆様に感謝いたします。



由利本荘市消防団
分団長
石井 忠 幸

日本消防協会会長秋本敏文様始め、様々な講師の方のお話を伺い、改めて消防団の大切さを知りました。

そして、全国から消防団員が集まり意見交換をしました。やはり、どの消防団も人が足りない、若い人たちが入団してくれないなど、問題が似ていました。

また、地域防災がいかに大切か、町内会、自治体など話し合っ行ってたらいいなあと思いました。研修に参加させて頂きありがとうございました。



秋田市消防団
団員
堀井 泉

今回の研修では講師からの貴重な講話を始め、全国の消防団員の活動内容や問題点を知ることができ、大変勉強になりました。

団員の活動は火災現場、地域住民への防災・啓発活動など地域によって様々でした。女性だからできること、女性の視点での防災対策を考えたいことが私たちの今後の課題です。

「消防団員としての使命」を忘れず、地域防災力の向上に貢献できるように努力していきたいと考えております。

素晴らしい研修に参加させていただきました。素晴らしい研修に感謝いたします。



横手市平鹿消防団
部長
伊勢 睦子

中央特別研修に参加して、私の班は「女性消防団員確保対策」についての課題でした。各県から様々な問題が挙げられました。PRの場所、

広報活動をどこまでできるか行政と連携して活動できる場を増やしてもらえるようにしてほしい等、若い方々に興味を持ってもらえる場所に自分達から進んで出向いて女性消防団を理解してもらい、子育て中の若い女性でも入団しやすい環境を作っていく必要があると感じました。

平成28年度 消防防災科学技術賞 作品募集

応募要領

◆募集区分

【消防職員・消防団員等による応募】

- (1) 消防防災機器等の開発・改良
- (2) 消防防災科学に関する論文
- (3) 原因調査に関する事例報告

【一般による応募】

- (1) 消防防災機器等の開発・改良
- (2) 消防防災科学に関する論文

◆応募受付期間

平成28年4月1日(金) ～ 5月6日(金)

◆表彰

優秀な作品には、平成28年11月に行われる表彰式において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

※ 一次審査を通過した作品はホームページにて紹介します。表彰作品の公表は9月頃の予定です。詳細は消防研究センターホームページをご覧ください。



お問い合わせ先

消防庁 消防研究センター 研究企画室
TEL : 0422-44-8331 FAX : 0422-44-8440 E-mail : hyosho2016@fri.go.jp
消防研究センター ホームページ <http://nrifd.fdma.go.jp/>

支部情報アラカルト

「消防団員教養研修 事業について」

「消防団員教養研修 事業について」

「消防団員教養研修 事業について」

「消防団員教養研修 事業について」



次の「安全管理」では、過去のあつた重大な事故とそれに関連する判例の紹介があり、様々な事故の発生要因について説明がありました。安全管理の基本は自己防衛であり、業務遂行時に死者・負傷者を出さないことが最重要であることから、感受性を身に付け、潜在危険の予測と安全措置の徹底を図ること、そのためには、問題意識を育成させ、安全管理教育と安全意識を向上させることが必要であることが理解できました。

防災と安全管理の徹底や身近に潜む危険要因について再確認し、地域全体の防災力の向上に繋がる良い研修となりました。

〔情報提供 〓 男鹿潟上南秋支部〕

新消防団長紹介

羽後町消防団



滝澤 将史 (六五歳) 昭和二十五年二月二日生

昭和五八年一月一日 入団
平成一八年四月一日 分団長
平成二三年三月一日 副団長
平成二八年三月一日 団長

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

Table with columns for years (平成28年, 平成27年, 同期比較) and categories (建物, 林野, 車輦, その他, 合計, 死者数, 負傷者数).

お知らせ

当協会は、平成二八年四月一日をもって「公益財団法人秋田県消防協会」から「一般財団法人秋田県消防協会」に法人の名称を変更しました。

株式会社タカギ

秋田県横手市寿町1番28号 TEL (0182) (32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ, キンパイホース, トーハツポンプ, シバウラポンプ, 各種消防機械器具, 各種消火器, 消防設備保守点検

ホームページ http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/ E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ, モリタ自動車ポンプ, 消防被服全般, 秋田県代理店

株式会社 高義商会

- トーハツ小型動力ポンプ, モリタ自動車ポンプ, ジェットホース, 消防被服全般, 火災報知器各種, 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 TEL(0183) (42)2125 湯沢市田町 TEL(0183) (73)2588